

東建パブリニュース

平成29年9月13日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年9月12日 中部経済新聞 P. 1

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポ、中国事業拡大

子会社が建材の外販推進

東建コーポレーション子会社で、システムキッチンや室内建具、構造部材など住設建材総合メーカーのナスラック（本社名古屋市中区丸の内、左右田稔社長）は、中国事業を拡大する。中国の地場企業向けに建具や金属部材、樹脂部材など建材の外販を推進する計画。2017年の中国事業の売上高は、前年比2割増で過去最高の4億6千万円を目指す。

（竹田ゆりこ）

ナスラックの現地子会社 品は中国でもニーズが高い（担当者）とし、大手不動産開発業者を通じてマンションなど建物の内装工事を行う業者に日本製の壁紙や建具、金属部材、樹脂部材などの建材を売り込む。日本でのネットワークを生かしてコストパフォーマンスに優れた良品を仕入れ、外販に弾みをつける計画だ。

「質にこだわる日本の製品だ。」

16年の中国事業の売上高に占める外販比率は25・9%だったが、17年は32%まで高まる見通し。外販のうち中国国内への納入は53・0%と、初めて日本向けを上回ると見込んでいる。ナスラックは今後、中国国内で高齢者施設の建設が伸びるとみており、高齢者住宅やグループホームなどの関連施設工事向けの営業を強化していく方針だ。

ナスラックの現地子会社が入居する中国・上海市のオフィスビル

以上